

## 令和2年度 指定管理者の適正管理に関する調査表

↓ コード表からコード番号を入力

施設名	コード	6	岡谷市勤労青少年ホーム	
指定管理者	名称	(財)諏訪湖勤労者福祉サービスセンター	指定期間	H28. 4. 1~R3. 3. 31
料金形態	形態	指定管理料	指定管理料	13,032,000 円
主な業務内容	施設の管理・運営、施設の使用許可、施設使用料の徴収、自主事業の実施			
施設担当課	工業振興課			

### 1 施設担当課によるモニタリングの実績

#### ○施設訪問

- 施設訪問の頻度

▼より選択

週に1回

- 施設訪問の際に行った内容

▼より選択

情報交換、意見交換	○
施設管理状況の確認	○
施設の安全点検（危険箇所の把握等）	○
業務指導、改善要求	○

#### ○事業報告書

- 報告書の提出を求めている頻度

▼より選択

日報	月報	四半期報告書	年報（事業報告書）
	○		

#### ●モニタリングの結果

- モニタリングで把握した課題

施設の老朽化による小規模修繕。

- 指定管理者に対して業務指導、改善要求を行った内容

- 施設老朽化に伴う修繕箇所等の把握。
- 施設利用において、安定的な利用者サービスと利用者増に繋がる取り組み。
- 報告、連絡、相談の徹底。

- 業務指導、改善要求への対応状況

▼より選択

内容	チェック
指定管理者は、市の指導・監督に従い、速やかに指摘事項を是正・改善した。	○

## 2 施設担当課としての評価

### ○ 実績評価

#### ・ 事業報告書各項目の採点 (70点)

事業計画の項目	指定管理者	市の評価	評価に対する事項
基本方針	5	5	施設の設置目的に則した基本方針に沿って取り組みが為されている。
経費縮減	4	5	経費縮減に努めつつ、新型コロナウイルス感染拡大防止にかかる対策も適正に対応した。
職員の配置	5	5	適正な配置が為されている。
有資格者等の配置	4	4	概ね適正な配置が為されている。
職員研修の実施	4	4	引き続き労働事情等動向の把握に努められたい。
施設の維持管理	5	5	こまめな施設チェックと速やかな修繕対応等適正に実施されている。
住民の平等利用の確保対策	5	5	施設設置目的である勤労青少年の安定した活動を確保しつつ、幅広く一般にも開放している。
サービス向上対策	5	5	職員及び利用者相互において利用しやすい環境づくりに努めている。
利用者の要望の把握及びその実現対策	5	4	施設利用者向けのアンケートの実施等要望把握に努められたい。
自主事業の実施	3	3	新型コロナウイルスの影響により自主事業の実施が困難な状況であった。
地域、他施設との連携	4	5	サークル等と共に地域貢献活動など積極的な取り組みが行われている。
施設の運営	5	5	適正に対応されている。
個人情報保護に向けた取り組み	5	5	適正に処理されている。
防犯、防災の対応 その他、緊急時の対応	5	5	AEDの設置や消防訓練のほか、緊急時においても速やか且つ適正な対応がなされた。
合計	64	65	

※各評価に対する事項については、特記すべき点を記載（採点「5」及び「1」については、必ず評価に対する事項を要す）すること。

採点	評価基準
5	管理運営業務が要求水準、事業計画を上回っており、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供を確保した。
4	管理運営業務が要求水準、事業計画のとおり又はやや上回っており、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供を行った。
3	概ね要求水準、事業計画のとりの管理運営を行った。
2	管理運営業務が要求水準、事業計画のとおり行われており、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供が提供されることが見込まれるものの、一部遅滞や不履行がみられ、簡易な改善を要する。
1	管理運営業務が要求水準、事業計画を下回るなど、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供に改善が図られず、次年度に早急な改善等を図る必要がある。

・ 出納状況 (4点)

出納状況	はい	いいえ
決算について、各項目の収入額は適正である。	1	
〃、各項目の支出額は適正である。	1	
〃、必要な業務を行わずに余剰金が生じた項目はない。	1	
指定管理経費は、法人本体の経理とは明確に区別して管理された。 複数施設を一括管理している場合、1施設ごとに予算・決算が示された。	1	
合計点	4	

・ 事務事業評価 (10点)

↑増、↓減、→現状維持

▼より選択

施設の利用状況	チェック	採点
施設稼働率	↓	0
年間利用者数、件数	↓	0
1日あたり利用者数、件数	↓	0
施設使用料年間収入額	↓	0
活動一単位あたりコスト	↓	0
合計点		0

有効性評価	標準
-------	----

増	: 2点
維持	: 1点
減	: 0点

・ 評価する事項

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 勤労青少年ホームにあっては、サークル団体との連携を図りながら利用者(団体)の定着化が図られている。また、講座においても利用者ニーズの把握に努めながら利用者増に努めている。</li> <li>・ 管理運営のため配置された職員のみならず、管内に事務所を置く諏訪湖勤労者福祉サービスセンター職員においても適正な施設管理の向上に寄与している。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染拡大防止への対策を講じながら施設の管理・運営が行われた。</li> </ul>
--

・ 改善が必要だと考える事項

<p>新型コロナウイルス感染症の影響により利用者減となったが、引き続き感染防止対策の徹底を図りながら管理・運営に努めて頂きたい。</p>
--

・ 事業計画書の提案事項のうち未実施の項目

未実施の項目	特になし。
未実施の理由	

・ 3つの選定基準による評価 (16点)

▼より選択

3つの選定基準	評価項目	評価	点数
1 平等利用の確保	利用者ニーズへの対応の積極性、苦情処理の充実度	普通	1
	平等利用の確保対策の充実度	普通	1
2 施設の有効利用及び経費の節減	施設利用状況の向上度 (利用者数・件数、使用料収入)	普通	1
	岡谷市のまちづくりに対する貢献度	高い	2
	経営ノウハウの活用度	高い	2
	管理・運営コストの抑制度	普通	1
3 管理の安定性	管理・運営体制の安定度	高い	2
	施設・設備の安全度、安全確保対策の充実度	普通	1
		合計点	11

●総合評価

特に優れた管理運営が行われ、継続した取り組みに期待する	優れた管理運営が行われ、継続した取り組みに期待する	適正な管理運営が行われており、更なる向上が求められる	管理・運営方法の改善が必要である	管理・運営方法の抜本的な改善が必要である
90点以上	89-70点	69-50点	49-30点	29点以下
S	A	B	C	D
	○			

## 令和2年度 指定管理者の適正管理に関する調査表

↓ コード表からコード番号を入力

施設名	コード	6	岡谷市勤労青少年ホーム
指定管理者	名称	(財)諏訪湖勤労者福祉サービスセンター	指定期間 H28.4.1~R3.3.31
料金形態	形態	指定管理料	指定管理料 11,291,000 円
主な業務内容	施設の管理・運営、施設の使用許可、施設使用料の徴収、自主事業の実施		
施設担当課	工業振興課		

### 1 施設の利用状況

\*①は貸館施設のみ対象 \*②・③はどちらかの欄に記入 \*

区分	30年度	元年度	2年度	3年度(予算)
① 施設稼働率	73.4%	70.7%	69.4%	
年間開設日数(日)	341	334	288	340
1日の開設時間(時間)	12	12	12	12
年間利用可能時間(時間)	4,092	4,008	3,456	4,080
年間利用実績(時間)	3,005	2,835	2,400	
② 年間利用者数(人)	0	0	0	0
有料利用者数				
無料利用者数				
減免措置者数				
③ 年間利用件数(件)	1,486	1,409	1,200	1,420
有料利用件数	825	772	685	780
無料利用件数				
減免措置件数	661	637	515	640
④ 1日あたり利用者数、件数	4.4	4.2	4.2	4.2
⑤ 施設利用状況の説明	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から施設使用中止期間があったことによる利用件数の減。			

### 2 コストの推移

\*この事業にかかる費用(人件費は、1人あたり年間800万円で換算)

[単位:円]

区分	30年度	元年度	2年度	3年度(予算)
① 直接事業費	10,947,847	11,129,037	11,298,129	11,568,000
経常経費	10,947,847	11,129,037	11,298,129	11,568,000
臨時的経費				
*臨時的経費の説明				

区分	30年度	元年度	2年度	3年度(予算)
② 人件費	2,160,000	2,160,000	2,160,000	2,160,000
正規職員の人数(人)	0.27	0.27	0.27	0.27
③ 合計コスト(①+②)	13,107,847	13,289,037	13,458,129	13,728,000
前年度比		101.4%	101.3%	102.0%
財源内訳				
一般財源	12,274,016	12,471,811	12,671,219	13,027,000
特定財源	833,831	817,226	786,910	701,000
*特定財源の説明	使用料、財産使用料、実費徴収金、行政財産管理収入			
④ 施設使用料年間収入額	649,395	648,330	596,830	520,000
⑤ 年間減免措置額	289,580	274,215	209,380	290,000
⑥ 受益者負担割合	8.6%	8.3%	7.1%	7.0%
⑦ 活動一単位あたりコスト	8,821	9,432	11,215	
前年度比		106.9%	118.9%	
⑧ コストに関する補足説明				

### 3 大規模修繕の予定

内容	円	予定時期
予定事業費		

#### 4 施設の維持管理コスト

##### 1 施設の維持管理にかかる直接事業費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
火災保険料	7,129		7,129	
委託料	11,291,000		11,291,000	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	11,298,129	0	11,298,129	

##### 2 施設の維持管理にかかる人件費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	
正規職員の人数	0.27		0.27	人
合計	2,160,000	0	2,160,000	円

##### 3 特定収入 単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
使用料	596,830		596,830	
財産使用料	14,520		14,520	
実費徴収金	140,360		140,360	
行政財産管理収入	35,200		35,200	
			0	
			0	
合計	786,910	0	786,910	

##### 4 一般財源 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	12,671,219	0	12,671,219